

家庭教育学級「織姫☆彦星キャンパス」講座レポート

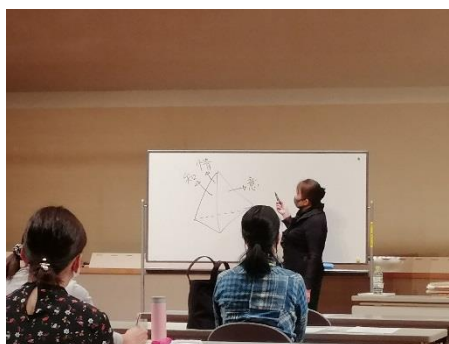
家庭教育学級 10月学習会

2020年10月9日

今回の講座は、佐賀女子短期大学名誉教授の白根恵子先生を講師にお迎えし、「子どもと読書～家族で家読を楽しもう～」をテーマにお話しいただきました。「牛方とやまんば」の語り(ストーリーテリング)で始まりましたが、先生のやさしく心地良い声で一気におはなしの世界へ引き込まれました。



1冊の本との出会いがもたらした心温まるエピソードの紹介や先生ご自身の子育て体験を織り交ぜたお話の中で、読書を通して子どもとの関わりの大切さについて述べられました。



読書は生きる力につながり、人生の予習ができる、また、物事を客観的に考える力や自尊感情・自己肯定感を育みます。読書体験（読み聞かせ等の体験）を生活の中にたくさん取り入れてほしいとお話してくださいました。そして、自分にとっての面白いと思える本に出会ってほしいと。大変貴重はお話を伺うことができました。受講者からは、「今まで知らなかった絵本の力を知ることができた。」「興味が持てる本を図書館で探してみようと思う。」「私も子どもと絵本を楽しむ心の余裕を持ちたい」など感想の声がありました。

家庭教育学級 お父さん向け講座

2020年10月11日

家庭教育学級「お父さん向け講座」を開催しました。

2回目の講座では、夢工房 BAKU 主宰の後藤直暁先生を講師にお迎えし、「世界でここだけ？ 秘密のびっくり折り紙ヒコーキ」をテーマに親子で紙飛行機づくりに挑戦しました。2部制で開催し、9組24名が参加しました。



おりがみには繊維の向きがあり、その向きを利用して折ることがポイント。

基本的な折り方、「やまおりーーー」「たにおりーーー」を教わり、子ども達にも分かりやすく教えていただきました。

おりがみとコピー用紙を使って紙飛行機づくり。

屋内でも飛ばせる当たっても痛くない「マジックカーペット飛行機」や、調整次第で飛距離も変わる「おへそヒコーキ」、先生オリジナル考案の「筒型飛行機カメハメハ」、羽をばたばた動かすところがポイント「ばたばたちょうちょ」を作って、飛ばしました。試し投げでは、子どもはもちろんお父さんも夢中になっていました。なかなか距離がでない子どもの紙飛行機をお父さんが微調整して再チャレンジ…。スーッと遠くまで飛ぶ紙飛行機に子どもは大喜び。微笑ましい親子の姿が見られました。あっというまの1時間、すっかり紙飛行機の奥深さに魅了されました。



【参加者の声】

- ・おりがみで何かを作って遊ぶこともなかったので、とても新鮮で家でもやりたいと思いました。
- ・今後、子どもとのコミュニケーションツールとして活用したいと思います。
- ・子どももかなり楽しめた様子でしたので、良かったです。遊びのネタとしても参考にさせていただきます。

家庭教育学級 体験学習

2020年10月31日

家庭教育学級 秋のイベント「親子で楽しむ！芋ほり体験」を開催し、

爽やかな秋晴れの中、小郡市干潟の芋畑に10組の親子が参加しました。

この体験では、秋の自然に触れ、畑の雰囲気と収穫して食べる喜びを体感し、子どもの食育に役立つことをねらいとしています。

今回で8回目となる芋ほりは、初めての土曜開催でした。きょうだい兄やお父さんの姿も見られました。

さあ、芋ほり開始！

土の中からお芋が顔を出す「わぁ、おおきい」と歓声が上がっていました。お父さんやお母さんは、形が崩れないように丁寧に掘り出していました。掘ってみないとわからない作業は、ある意味宝探しのようなものでした。

親子でたくさん土に触れ、収穫の秋を感じながら楽しい時間を過ごすことができました。



【芋ほり体験の感想】

- ・初めて家族でイモほりをしました。協力して大きいイモを見つけたときは大興奮!!たくさんの虫を見つけたり、土遊びをしたり、イモほり以外でもとっても楽しめました。
- ・子どもたちもこのような体験を通して何かしら自然の恵みや自分で収穫したんだという喜びの気持ちを受けとってくれたと思います。
- ・なかなか土をいじる機会がないので良い経験ができました。お芋は好きですが、実際掘るとなると難しいみたいでしたが、楽しんでいる様子でした。いつも食べているお芋になっている様子を見せることができ良かったです。